

2023年12月18日

2023年度明治大学研究者交流支援制度（MU-RMG 2023-03） 実施報告

情報コミュニケーション学部准教授

日置 貴之

hioki@meiji.ac.jp

1. 招聘者

日置貴之（情報コミュニケーション学部准教授）

2. 被招聘者

エイミー・スタンリー氏（米国ノースウェスタン大学歴史学部教授）

3. 招聘期間

2023年11月26日～12月6日

4. 概要

米国ノースウェスタン大学歴史学部教授のエイミー・スタンリー氏を招聘した。スタンリー氏は社会史・ジェンダー史の観点から日本近世・近代史を研究している。招聘者の専門は演劇学（幕末・明治期を中心とする日本演劇研究）であるが、演劇・文学等の研究と歴史研究の交流およびジェンダーという観点からの従来の研究の見直しといった点について、日本国内の諸分野の研究者を交えて議論することを目的として今回の招聘をおこなった。

招聘期間中、12月4日に特別セミナー、5日に公開講演会を実施した。セミナーは主に日本史学・文学・演劇等を専門とする研究者および学生を対象とし、スタンリー氏の論文（「ジェンダー史としての天保改革と江戸」『国立歴史民俗博物館研究報告』225）にもとづいて、スタンリー氏による補足説明と日本近世史を専門とする須田努氏（情報コミュニケーション学部長・教授）によるコメントののち、参加者間での議論をおこなった。歴史と文学・演劇等のフィクションとの関係や、文学作品等を民衆史研究の資料として用いることなどについて活発な議論が交わされた。

公開講演会では、スタンリー氏が2020年に出版し、すでに全米批評家協会賞受賞（2020年）、ピューリッツァー賞最終候補ノミネート（21年）など高い評価を受けている著書 *Stranger in the Shogun's City: A Japanese Woman and Her World* の内容と、従来の歴史研究では対象となることの少なかった江戸時代の一般女性の生涯について研究をおこなうことの意味、アメリカ合衆国における日本史研究の状況と一般社会との関係

といった問題についてお話しいただいた。研究者、国内外の大学の大学院生・学部生、社会人など幅広い聴衆の参加を得て、講演後の質疑も充実したものとなった。

このほか、スタンリー氏は滞在中、明治大学図書館をはじめとする国内機関における調査や国内の研究者・出版社との打ち合わせ等をおこない、今後も歴史研究・文化研究の枠を超えた共同研究等に向けた議論を継続していくことを確認した。

5. 講演会等概要

- ① 特別セミナー「近世史とジェンダー 「ジェンダー史としての天保改革と江戸」をめぐって」

日時：2023年12月4日（月）15時20分～18時

会場：明治大学リバティータワー1135教室

参加人数：27名

- ② 公開講演会「ひとりの日本女性と彼女の世界 Stranger in the Shogun's City をめぐって」

日時：2023年12月5日（火）18時～20時

会場：明治大学リバティータワー1074教室

参加人数：68名